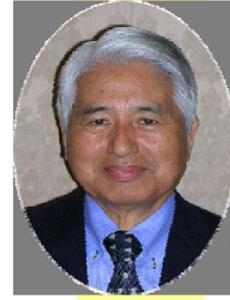


「ロータリーは宝島」

国際ロータリー第2640地区IM8組

ガバナー補佐 辻野 嘉人 (堺西ロータリークラブ)



今期IM8組のガバナー補佐を拝命することになり、早8ヶ月が経ちました。ロータリーを楽しむことについては大得意とする私ですが、今期初めはガバナー補佐という重責を果たせるのかどうか、まだまだ勉強不足なゆえ不安ではありましたが、ロータリーが今まで私に与えてくれた数々の宝物への感謝の気持ちから、目の前の小さな事でも私に出来ることがあればさせていただきたいという思いでした。しかし、この前期、担当クラブ訪問や平原ガバナーとともに公式訪問に随行させていただく中、行く先々で皆さんとても友好的に温かく接していただき、またクラブの規模に関係なく、ロータリアン一人一人が熱心に活動し努力されていることに感激し、私は学ぶことが多く、大変勉強させていただき、また一つ宝物をいただきました。

私のロータリー暦は約20年になりますが、その間、私生活において子どもの入学や結婚など節目のときや、仕事においては得意先や従業員に対する感謝の気持ち、社会奉仕活動では心が洗われ、また地域の方々が喜んでいただいている姿に感動し、清々しい心を与えていただいたりしました。また私の子ども二人もロータリーの留学制度を利用して、海外を知ることで日本の良さを感じてくれたりと、私の子どもたちまでも、素晴らしい経験をさせていただくなど、ロータリーからいただいた宝物は数知れません。その恩返しとっては大それたことですが、今期ガバナー補佐就任をきっかけに、皆さんにロータリーの素晴らしさを知っていただく努力をし、一人でも多くのロータリアンを増やしたい…それが私の使命だと思っています。

長々と思いのまま書き連ねましたが、私の思いをまとめますと・・・

ロータリーとは、まずクラブ奉仕において、クラブ例会の出席により、人間が磨かれて、ロータリーの心が育まれ、この心が奉仕の実践となって職業奉仕に生かされ、社会奉仕が行われ、国際奉仕が実施されるといいます。またこれらの実践はとても有り難いことに、ロータリーの中だけではなく、自分自身の家庭生活、職業社会などでも活用できるのです。ゆえに、ロータリー＝『宝島』。無限の宝物が眠っている場所なのです。しかし、宝物は無造作に置いているわけではないので、それは各人が見つけてください。宝物の探し方はとても簡単です。今期、平原ガバナーの提唱されている地区運営の方針のひとつ『ロータリーを楽しもう』を実践していただくだけですぐ見つかるはずです。

最後になりましたが、あと4ヶ月となりましたが、ガバナー補佐としての責務に力を尽くし、皆さんとともにロータリーを楽しんでいきたいと思っておりますのでどうぞ宜しくお願い申し上げます。